



第三次産業分科会

会場 京都経済センター（2F 京都産業会館ホール）〔京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78〕

交通 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札口より徒歩2分

阪急京都線「烏丸駅」西改札口より徒歩2分（地下鉄及び阪急／地下道26番出口）

10月24日（木） プログラム（13:00開始）

13:00

1 ユー・エス・ジェイにおける災害防止活動

(同) ユー・エス・ジェイ
オペレーション本部 オペレーション企画室 EHS 課長代理
永留 一弘

当社は新規アトラクション建設やイベント設備の建設等ならびに完成後には従業員のオペレーションがあり、非定常作業の連続である。すべてのユー・エス・ジェイに関わる方がケガにあわないためにも事前にリスクアセスメントを行い安心・安全の文化を構築している。

13:20

2 産前産後への理学療法士介入が女性の長期間雇用から Well-being に繋がる可能性

霧島市立医師会医療センター
医療支援部長・リハビリテーション室長
愛下 由香里

欧米諸国において産前産後の理学療法は積極的に取り込まれ介入効果のエビデンスが高いことが証明されている。男性と比べ身体・精神的な要因で就労継続が困難となりやすい。産後のトラブル状況とそれに対する理学療法効果、更年期に向けての教育方法について紹介する。

13:40

3 おもと会から介護を変えていくプロジェクト～安全・安楽な介護ケアの実践を目指して～

(福) おもと会 特別養護老人ホーム すみれ
看護介護課 介護主任
志多伯 千秋

身体的介護による腰痛は継続的な雇用を妨げる要因となることから予防に取り組むことが重要な課題である。平成30年度ノーリフトケアをテーマに「介護を変えていく」プロジェクトが法人を挙げて発足。安心安全なケアを目的に、当施設が改善に向けた取り組みを紹介する。

14:00

事例報告 朝日園の安全衛生推進活動「GSHMS」の取り組み

(福) 朝日園
朝日平成園 副施設長
谷口 純一

香川県労働局第12次労働災害防止計画により、社会福祉施設での労働安全対策推進の協力要請を受け、GSHMSを開始した。理事長からのキックオフ宣言により、職長教育等の各種教育研修、安全衛生活動方針の表明および同計画等の作成・実行し、システム監査の体制を整備運用した。

(14:30～14:40 休憩) 14:40

4 第三次産業における安全衛生活動

(株) アイコム
看護師
吉田 悠子

弊社は警備会社である。社員の高齢化により持病の悪化による退職や転倒骨折、熱中症が増加している。そのため業務負担感に配慮しながら、メール配信による健康安全情報の提供と社員の現場に出向いた個人面談を実施した。その結果健康維持、労災予防の意識が向上し信頼関係も深まった。

15:00

5 グレイスヴィルまいづるならではの衛生委員会の取り組み～始まりは浴室の環境改善から～

特別養護老人ホーム グレイスヴィルまいづる
施設サービス室 室長
仲井 なるみ

介護施設に多い労働災害のひとつに腰痛があげられる。グレイスヴィルまいづるでは、腰痛予防につながるよう「浴室の環境改善プロジェクト」「リフトの達人選手権」を企画。PDCAサイクルに沿って継続している福祉用具の活用と安全衛生意識の向上への取り組みを報告する。

15:20

特別報告 外食産業における職場環境改善アクションチェックリスト開発と現場応用

(公財) 大原記念労働科学研究所
研究員・医師
佐野 友美

外食産業における職場環境は勤務形態の多様性と相まって、安全・健康上に多くの課題を抱えている。現場労働者へのヒアリング・良好事例の収集をもとに、外食産業に特化した参加型職場環境改善プログラムを開発し、その有効性を検証したので、改善ツールの作成と応用も含め紹介する。

15:50